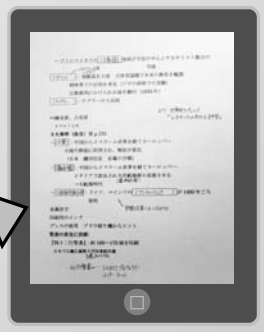
必要な情報だけを1箇所に

今年の５月に発売され人気商品となっているApple社のiPad。そこで、東高生のiPad活用方法を紹介する。

私たちが普段使用している参考書の中には重たく、持ち運びにくいものがある。しかも、それらは直接本に書き込むことはせず、ノートに問題を写して解くものが多い。そんなときiPadを所有している生徒は携帯電話などで参考書の写真を取ってiPadへ取り込むという。こうすることで持ち運びが容易になり、普段は重たくて持ち運ばないような参考書を気軽に持ち運んで読むことができる。細かい字で書かれたものを拡大して見ることができるというのも大きな利点だ。また、この方法を使えば学校から配られるプリントや教室に掲示される時間割変更、考査時間割、ノートに書ききれなかった黒板なども同様にiPadに取り込むことができ、必要な情報だけを１箇所にまとめることができる。(響)

▲iPadに取り込みます


▲iPadに入れたプリント

掲示板

情報化すゝ

インターネット

東高生の４割以上、電子辞書を使用
教育現場に迫る『情報化』

近年の情報化社会の進展にはますます拍車がかかっているが、情報化の波は教育現場にも及んでいる。

今回、東高生がどれだけ勉強に情報機器を使っているのか、実態を把握するためにアンケートを行った。その結果、情報機器を勉強に使っている生徒は全体の約４分の３、特に電子辞書を使っている人は全体の半分近くに上った。(グラフ３・４)そして、東高の教師の半分以上が、生徒の電子辞書の使用を容認しているということもわかった。(グラフ５)

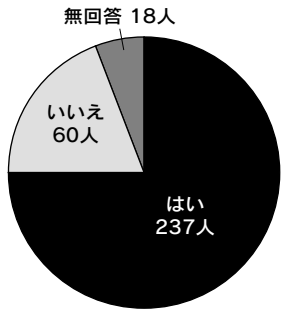
また、昨今の情報化を受け、政府も動き始めている。

文部科学省は、情報化社会に対応した学校教育のあり方を検討している有識者会議で、子供１人に１台の情報端末を持たせ、全ての教室で電子黒板などを活用出来るようにするべきだ、などとする今後の教育指針をまとめた。ここでは、情報化の進む中で、子供に社会で必要な情報活用能力を身につけさせることは学校教育の責務だとした上でネットいじめや有害情報などにどう対応するか学ぶモラル教育も必要だとしている。

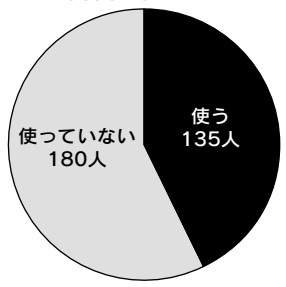
デジタル教材を導入することで、映像や音声などを駆使した授業やきめ細かい個別指導につなげることができる。

このように、デジタル教材は便利なツールだ。しかし、便利な側面ばかりが注目されがちであるが、もちろんデジタル教材にはデメリットも存在する。ここでは教育における情報機器のあり方について取材結果をまとめた。(桜風)

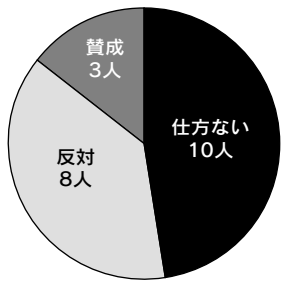
グラフ3
勉強に情報機器（電子辞書、パソコン、音楽プレーヤーなど）を活用していますか？



グラフ4
電子辞書を使いますか？



グラフ5
生徒が電子辞書を使うのをどう思いますか？（教師対象）



2015年 デジタル教科書導入へ
デジタル教科書協議会

教科書のデジタル化について「デジタル教科書協議会（ＤｉＴＴ）」にメールで取材を行った。

まず、デジタル教科書が必要だと考える理由について尋ねた。情報化社会は、情報量が増えている中で、それを処理する必要がある。また、新しい知や、価値を創造する能力が求められる。そこで教育も、今までのような、より多くの知識を得るものから、多くの情報から必要な情報を選択し、再構成して新しい価値を生み出す力を得られるように変わる必要があるからだそうだ。また、「教育の分野だけ情報化されなくて良い理由はない」という意見もあるそうだ。

教科書のデジタル化によって改善される点については、映像や音声が使える点、紙ではできないゲーム的教材にもなる点、どこででも、また誰とでもコミュニケーションできる点、教師が各生徒それぞれの学習状況を把握できる点など多数挙げられた。情報化の利点を簡単にまとめると『創造、共有、効率』だそうだ。

逆に、デジタル教科書の使用についての問題点は、現場の教師が対応できるかや、機器のメンテナンスなどがある。それらの具体的な問題を検討するために今回取材した「デジタル教科書教材協議会」が設立されたそうだ。最後に教科書のデジタル化により、既存の教科書の市場に大きな影響が及ぶと考えられる点について聞くと「教科書市場は６８００万人と大きく、成長が期待できる。現状に教科書市場の牌の取り合いをするのではなく、いかに市場を広げるかという点で尽力を尽くした い」との返事を頂いた。(快急)

紙辞書と電子辞書
『使い分けが大切』
英語科　富永雅博 先生　久米克尚 先生

右のグラフ５によると「生徒が電子辞書を使うのをどう思いますか」という質問に21人中10人の先生が「仕方ない」と回答された。この結果を踏まえ、紙の辞書と電子辞書を比較するために英語科の富永雅博先生と久米克尚先生に話を聞いた。

まず、紙の辞書のメリットを聞いてみると、富永先生は「語法や用例が目に入り、寄り道しながら学べる」、久米先生も「過去に引いた友達（単語）との出会いがある」と答えられた。『出会い』が紙の大きな利点のようだ。

次に電子辞書のメリットを聞いた。どちらの先生も『検索速度・軽さ』を大きな利点と考えられているようだ。富永先生は「目的の単語を早く見つけられ、いろいろな機能があり便利」と答えられた反面、「寄り道ができない」という欠点も挙げられている。また、久米先生は「気になる事柄がふと目に入った時には非常に便利だ」と話された。

以上の特徴から、どちらの辞書を使うべきか聞いた。富永先生は「電子辞書を使うのならば単語の意味を推測したり用例を見ることが大切だ」、久米先生は「基礎学力期は紙の辞書を使い、英文が高度になったり時間がない時は電子辞書を併用するのがよい」と答えられた。やはり辞書は使い分けが大切なようだ。(昴)

▶紙辞書と電子辞書を比較して話される富永先生

1995年　東高にノートパソコン 42台で2170万円

東高新聞400号

１９９５年、東高の視聴覚室（現在の情報教室）にノート型パソコンが42台導入された。費用は当時の概算の記録によると計２１７０万円とのこと。単純計算で１台、約50万円のノート型パソコンということになる。現在では、各パソコンメーカーのインターネットサイトでの見積りの最高金額を平均しても約40万円であり、店頭に並んでいる家庭向けのパソコンだと平均10万円程度である。これらのことを踏まえると、その当時、パソコンがいかに高価なものであったかということと、現在ではパソコンが一般家庭にも広く普及しているということが分かる。

今と昔のパソコンについて山本陽司先生に伺うと「23年前に初めてパソコンを買ったときは新品だととても高く、中古のパソコンを買った。今は値段も手ごろになり、みんなが買うことによってさらに値段が下がるという好循環で良いと思う」と話された。(龍)

▶ノートパソコン導入を伝える東高新聞（平成７年10月30日）

LAKE SHOP もりやま　ピエリ守山内
しょうがいしゃ
守山市照街者施設共同店舗
市内の共同作業所や施設の自主製品を販売しています。
★年中無休　★10:00～18:30 営業　★TEL 080-6216-2982

特定非営利活動法人（NPO）
ぷくぷく
こんにちは。
NPO法人ぷくぷくです。
ここでは、障がいのある人と無い人がともに働き、ともに過ごしています。
だれもが大切にされ、楽しめる場所作りをめざしています。
所在地　〒524-0214
滋賀県守山市立田町1530
TEL／FAX 077(585)7620
代表　下村　いさお

あなたの美味しい顔が見たくて・・・・
味杏 Asian アジアン
本店　カレーダイニング Asian
滋賀県愛知郡愛荘町安孫子 700－1
TEL 0749-37-4001
アクア店　カレー＆カフェ Asian
滋賀県近江八幡市慶銅町 179 番地
アクア 21 内　1階飲食店街
TEL 0748-38-5625